



挑戦！本格輪ゴム鉄砲



ときがもりじょう

昔、ときが森に「鶴ヶ森城」という山城がありました。「城」と聞くと立派な建物を想像するかもしれませんが、山城とは、地形を活かして敵に攻められないような工夫を凝らした城です。ときが森の頂上から見える「大洲城」とどのような関係があったのでしょうか？

この活動では、大洲藩鉄砲隊が使う「火縄銃」をモチーフにした「本格輪ゴム鉄砲」で輪ゴムを飛ばし、「昔の道具カード」を当てます。当てたカードを読み上げ、火縄銃や炊飯器など愛媛にまつわる「昔の道具」について学びます。

体験を通じて、「昔」に想いをはせ、歴史への探求心を促すことが目的です。「鉄砲」が変えた人々の戦い方や暮らしぶりを想像してみましょう。

また、この体験を通じて、「ものづくり」の面白さや作り手の想いに触れてみましょう。

歴史体験

「鶴ヶ森城跡」での体験を通じて、郷土史を学び、「歴史への関心」を促します。**生き抜いた先人から学ぼう！**



大洲藩鉄砲隊

平成26年(2014)・大洲城天守木造復元10周年記念に結成されました。
毎月第3土曜日・大洲城本丸にて、大洲藩鉄砲隊の公開練習開催中。
(観覧無料・詳細、大洲城HP)火縄銃の大きな音にびっくりしますよ。



【説明シート】



挑戦！本格輪ゴム鉄砲



【概要】

戦国時代に使われていた火縄銃をモチーフにした本格輪ゴム鉄砲での的当てを行う。
輪ゴム鉄砲を自作し、的当てすることもできる。

【ねらい】

- 体験を通して、歴史への興味 関心を促す。
- 自分で道具を作ること、ものづくりの面白さに触れる。

【活動の進め方】

- 1 活動の準備：事務室で打合せと貸出用具を受け取る。
- 2 導入とねらいの共有(5分)
 - ①読み物シートと絵巻物シートを読む。
 - ②説明シートを用い、ねらいを共有する。
 - ③ゴム鉄砲の打ち方やルールを説明する。
- 3 的当てゲーム開始(30分~40分)
 - ①的を台に設置し、6丁の鉄砲を順番に、交代で打つ。
 - ②的に当てたら、当てた「昔の道具カード」を読み上げる。
- 4 ふりかえり(10分)

例：昔の道具カードの「火縄銃」や「炊飯器」を読みあげ、道具の発明で暮らしがどのように変化したと思うか話す。

例：日本的動作カードの「ケンケンパー」を読みあげ、今と昔の遊びや身体能力の違いについて話す。
- 5 わかちあい(3分)

「ふりかえり」で話されたことを発表する。
気づいたことを今につなげよう！
- 6 片付け(2分)

準備物

打合せシート



説明シート



読み物シート



絵巻物シート



昔の道具カード



愛媛県にまつわる道具をカードにしています。

※事後学習としてもご活用ください。

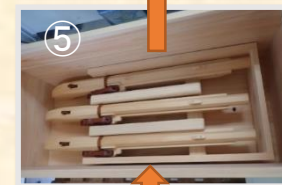
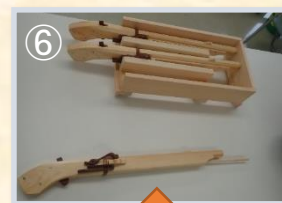
的の設置方法



「昔の道具カード」を洗濯ばさみで立てる。



木箱の開け方



箱の中は、2段です。

ゴム鉄砲の打ち方やルール

- ◎人や生き物には、**絶対に**銃口を向けたり、打ったりしないこと。
- ◎輪ゴムは、16番を使用すること。
- ◎輪ゴムは、1本だけかけること。
※2本かけると故障の原因になります。
- ◎使用後は、輪ゴムをすべて拾うこと。
- ◎水をいれたり、つけたりしないこと。
- ◎古い輪ゴムや傷ついた輪ゴムは使用中に切れる恐れがあるため、使用しないこと。
- ◎お子様が使用する場合は、**必ず引率者や保護者の方と安全に**十分注意してご使用ください。

作り手紹介

本格輪ゴム鉄砲



すーさん木の工房

<https://suzukishiki.handcrafted.jp/>

伝統的な町並みが残る愛媛県 内子町で「鈴木式輪ゴム鉄砲」は生まれました。「ものづくり」に対する思いや遊び心が、新しい暮らしを作るのかもしれない。



寄贈: すーさん木の工房

昔の道具カードと絵巻物シート



サニーポートレート
青木 薫



<https://kaoruaki.webnode.jp/>

絵巻物シート



MUROKOS



<https://murkoswork.wixsite.com/murkos>

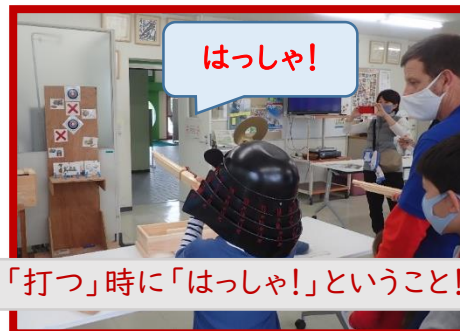
輪ゴムのかけ方



銃口の先にひっかける。



① 順番をきめ、交代で打つ。



「打つ」時に「はっしゃ!」ということ!



発射台の前に座らない!



人がいないか確認すること!

② 的を当てたら...



当てた「昔の道具カード」の解説を読みあげよう!

※愛媛県にまつわる道具をカードにしています。

輪ゴム鉄砲のつくりかた

参考: わりばしゴム鉄砲 <<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/bunka-bunkazai/fureai/kakonotenji/documents/48733.pdf>>

材料と道具



わりばし 5本
輪ゴム 6本
はさみ 1本

手順



- ①ハサミでわりばしの先から3cmくらいに切り込みをいれます。
- ②わりばしを回しながら、ハサミで切り込みをいれましょう。
- ③切り込みをいれ、手で折ります。切り口は、痛くないようにハサミで整えましょう。
- ④切りはなしたわりばしの長いものをわりばし2本で挟み、輪ゴムでまとめます。
- ⑤まとめたわりばしの真ん中の1本をひき出します。



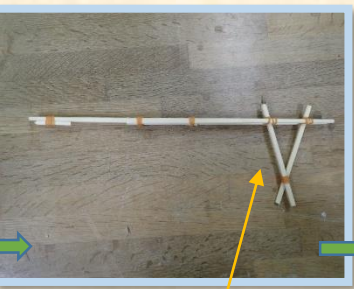
⑥伸ばしたわりばしの先に切りはなした3cmのわりばしを輪ゴムでとめます。



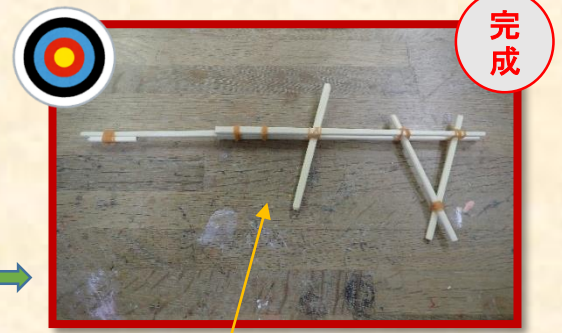
⑦残りの2本のわりばしを半分にわります。



⑧半分にしたわりばし2本の片側を輪ゴムでとめ、Vの字にします。



⑨Vの字にしたわりばしの両先を輪ゴムで写真のようにつけます。



⑩半分にしたわりばしの1本を写真のようにかたむけて輪ゴムでつければ、完成です。

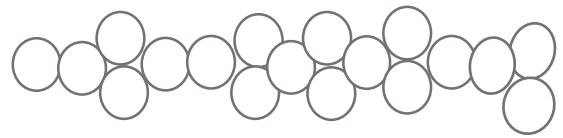
ケンケンパー



イラスト©青木薫

舗装された道路やコンクリート面に、「ローセキ」で自由な大きさの「○」を、スタートから順に1個、1個、2個、1個、2個を描いていき、そこに、○1個のところは片足で、2個のところには両足で立つ遊びです。しかし、年齢によって運動能力が違うので、「○」の間隔を広くしたりゆがめたりして、難易度を調節していました。

さらに、異なる年齢の子供たちが同時に遊ぶときは、上学年にハンディをつけるために頭に物を載せ落とさないようにおこなったり、スピードをつけておこなったりすることもありました。外国にもこの遊びはあります。



松ぼっくり館や自然環境館前のアスファルト道でできるよ!!